

「セロテック」ALP-IF

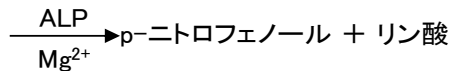
IFCC標準化対応法
(AMP緩衝液)

■特長

- ・IFCC-SOP法に良く相関します。
- ・直線性にすぐれています。
- ・共存物質は通常の濃度では影響ありません。

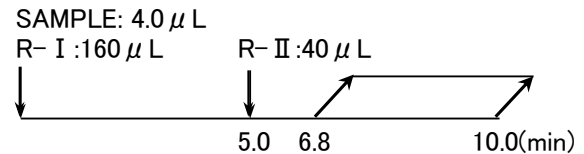
■測定原理

p-ニトロフェニルリン酸 + H₂O



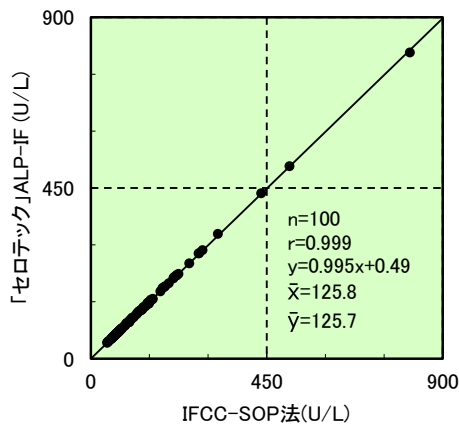
検体中のアルカリフォスファターゼ(ALP)は、有機リン酸エステルを加水分解してリン酸を遊離させる酵素であり、p-ニトロフェニルリン酸(pNPP)を基質とし、Mg²⁺の存在下でp-ニトロフェノールとリン酸を生じます。このp-ニトロフェノールの生成に伴う吸光度の増加速度を測定することによりALP活性値を求めます。

■測定条件(日立-7180の場合)

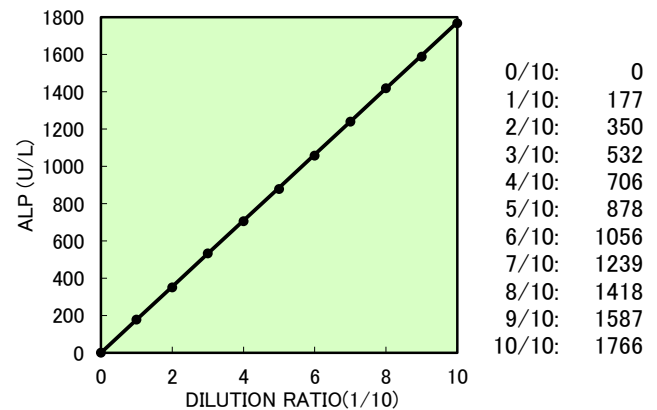


分析法/測定ポイント: RATE-A 23-34
波長(副/主) : 505/405
反応限界吸光度 : 23000-増加
キャリアーECを使用
※表示値はロットにより異なります。

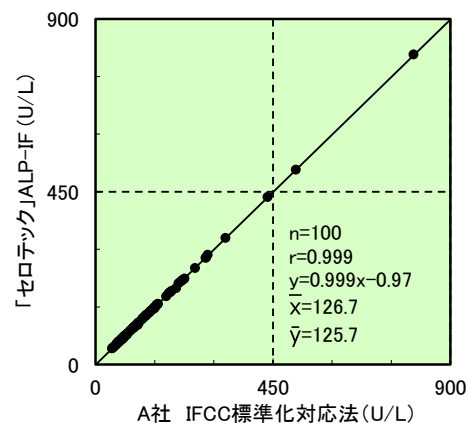
■相関(血清)



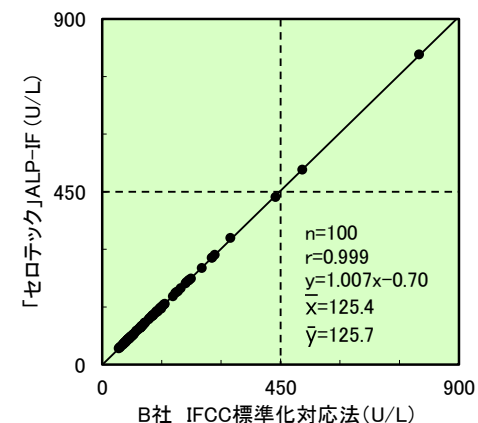
■直線性



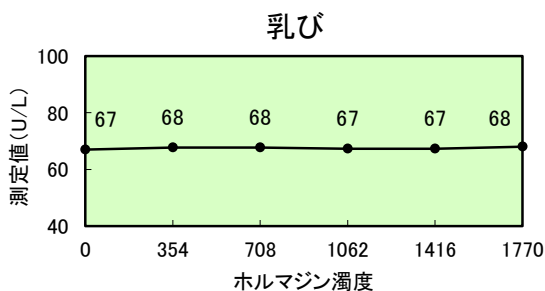
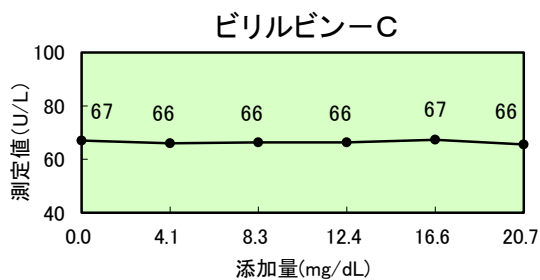
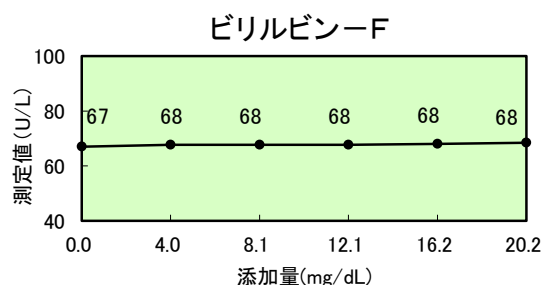
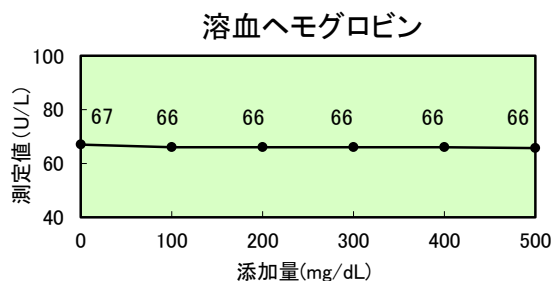
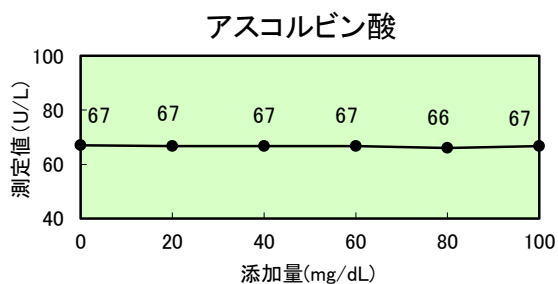
■相関(血清)



■相関(血清)



■ 共存物質の影響 (血清)



■ 同時再現性

(単位:U/L)

	SERUM I	SERUM II
N	20	20
MEAN	74.5	210.8
MIN	72	209
MAX	75	213
R	3	4
SD	0.76	0.97
CV(%)	1.02	0.46

■ 包装

製品コード	製品内容	包装形態
A593-15	ALP-IF (R-I)	60ml × 4
A593-27	ALP-IF (R-II)	30ml × 4
A593-10	ALP-IF (R-I)	80ml × 4
A593-20	ALP-IF (R-II)	40ml × 4
A593-35	ALP-IF (R-I)	200ml × 3
A593-40	ALP-IF (R-II)	100ml × 3

■ 参考基準範囲

血清: 38~113U/L

(JCCLS共用基準範囲より引用)

■ 貯法及び有効期間

2~10℃保存 製造後1ヵ年 (開封後は2週間)

※使用上の注意等は添付文書をご参照下さい。



株式会社 セロテック

お問い合わせ先 (企画開発室)
 〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7
 TEL 011-855-1131 FAX 050-3153-7493
 E-mail: kikaku@serotec.co.jp